

# 外科を受診された患者様へ 研究に関するお知らせ

家族性腫瘍の発症リスクと病態に関するゲノム解析研究

研究責任者：臨床ゲノム腫瘍学分野・古川洋一

当院では、遺伝的ながんになりやすい方々の診断法・治療法開発研究を行っています。このたび、家族性腫瘍を発症しやすいハイリスク群の方々の診断方法や、それぞれの体質に合わせた健康管理法開発の為に、標記の研究を開始いたしました。この研究では、平成13年6月～平成28年9月の間に当院を受診し、遺伝性大腸がんに関する研究「遺伝性非ポリポーシス大腸がんに関する遺伝子研究」（医科研承認12-21：平成13年6月～平成22年9月）、「遺伝性非ポリポーシス大腸がんデータベースおよび診断アルゴリズム開発研究」（医科研承認20-43：平成20年10月～平成25年9月）、「大腸がんの発症リスクと病態に関するゲノム解析研究」（医科研承認23-18：平成23年9月～平成28年9月）に参加し、今後の新たな研究に参加してもよいとご同意をいただいた患者様の検体も、解析をさせていただくことをお知らせいたします。該当する患者様の中で、ご自身の組織や診療情報が本研究に利用されることを拒否される場合には、下記の連絡先又は研究倫理支援室（03-6409-2035）までご連絡ください。

尚、組織と診療情報を使用させていただく際には、個人情報厳重に保護<sup>\*</sup>しますのでご安心ください。

※診療情報から個人識別情報（氏名、住所、電話番号、生年月日など）を取り除き、代わりに新しく符号をつけます。個人識別情報と符号を記した対照表は本研究の個人情報保護責任者が厳重に管理致します。

## ◆ 対象となる患者様：

東京大学医科学研究所附属病院を平成13年6月～平成28年9月の間に当院を受診された患者さんで、「遺伝性非ポリポーシス大腸がんに関する遺伝子研究」、または「遺伝性非ポリポーシス大腸がんデータベースおよび診断アルゴリズム開発研究」、「大腸がんの発症リスクと病態に関するゲノム解析研究」に参加し、ほかの新たな研究に参加してもよいとご同意をいただいた患者様

## ◆ ご協力いただくこと：

平成13年6月～平成28年9月の間に当院を受診された患者様の診療情報と、採取した血液から抽出したDNA, RNAを研究に利用させていただきます。

## ◆ 研究期間：

平成28年10月17日～平成33年9月30日

研究に関するご質問等がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

<連絡先>

医科学研究所臨床ゲノム腫瘍学分野	古川 洋一	03-6409-2100
医科学研究所附属病院外科准教授	篠崎 大	03-3443-8111